

すすめ！！びわっこ探検隊 活動レポート

春季

公益財団法人 淡海環境保全財団

活動のテーマ：びわ湖のヨシを学び、遊ぶ

【すすめ！！びわっこ探検隊について】

淡海環境保全財団では、子どもたちが自然環境に興味関心を持つきっかけづくりとして、県内在住の小学4年生から中学2年生を対象に、びわ湖をはじめとする滋賀県の豊かな自然環境や自然と人の共生、文化などを学び体験するプログラムを年間4回開催しています。

【春季プログラムについて】

開催日 令和7年(2025年)5月17日(土) 9:30~12:00

場所 淡海環境プラザ(滋賀県草津市矢橋町字帰帆2108)

講師 国立環境研究所 琵琶湖分室

(活動内容)

- 1 ヨシに関する基礎学習
- 2 びわ湖に生息する魚類とヨシとの関係に関する学習
- 3 国立環境研究所 琵琶湖分室の研究室見学(※雨天の為フィールドワーク中止)
- 4 ヨシを使ったワークショップ

○びわ湖のヨシに関する学習

「ヨシ」は滋賀県ではおなじみのびわ湖の自然のシンボルともいえる植物で、生き物のすみかとなったり、人の生活に役立つなど様々な面がありますが、意外と知られていません。

参加者にはヨシがどんな植物で、生き物や人とのどのように関わっているかを学習していただきました。

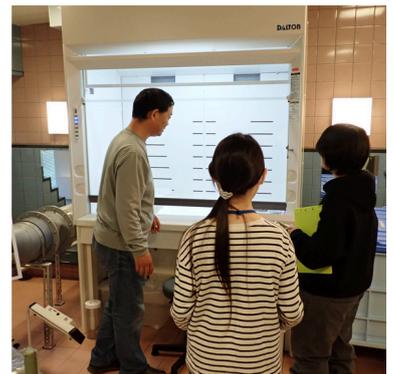


○びわ湖の魚類とヨシの関係に関する学習

国立環境研究所琵琶湖分室の馬淵様を講師にお招きし、びわ湖のヨシ帯とそこで産卵をする魚類との関係などについて詳しく教えていただきました。

参加者は普段聞くことが出来ない研究者のお話を、熱心に聞いていました。

また、雨天のため、予定していたフィールドワーク（矢橋のヨシ原見学）が出来ない代わりに、琵琶湖分室の研究室で魚の標本などを見せていただきました。



○ヨシを使ったワークショップ

参加者はヨシ工作キットで思い思いのストラップを製作するとともに、すだれ編みも体験し、ヨシの利用の大切さを学ばれました。



夏季プログラム修了



活動のふりかえり

あいにくの天候でしたが、参加者は一生懸命活動されました。参加者からは「ヨシを詳しく知ることが出来たし、研究室の見学も面白かった。」や「研究室の魚の保存方法が面白かった。今日学んだことを友達にも伝えたい。」という感想がありました。ご参加いただいた皆さんは本当にお疲れ様でした！！有難うございました。次回夏季プログラムは7月26日（土）に琵琶湖博物館を拠点に開催いたします。